ちびっこ力士が真剣勝負

第７回内子町子供相撲大会

「第７回内子町子供相撲大会」（内子町教育委員会、内子町相撲協会、内子町ＰＴＡ連合会主催）は８月８日、知清公園相撲場で開かれました。町内６つの小学校から計120人が出場。全力でぶつかっていく子どもたちの熱い取り組みに、会場からは大きな声援が送られました。

■個人の部　優勝者

	男子の部	女子の部
１年	澤田　侑将（内子小）	清水　未来（立川小）
２年	木村　　竣（天神小）	大野　恵愛（内子小）
３年	髙橋倫太郎（五十崎小）	宮部　文愛（天神小）
４年	中塚　康紀（内子小）	竹尾　英里（内子小）
５年	宮岡　純也（天神小）	久保　絢音（立川小）
６年	佐々木剣心（内子小）	萬奥　桃華（立川小）

■団体の部

順　位	団体名
優　勝	内子小学校Ａ
準優勝	立川小学校Ｂ
第３位	立川小学校Ａ

▲前日、県の相撲大会で３位になった佐々木剣心くん。その強さを見せ、６年男子の部で優勝

「文楽」の楽しさ味わって

第15回内子座文楽公演

日本を代表する伝統芸能である文楽の第15回内子座公演（同実行委員会主催、藤友光安実行委員長）は８月20・21の両日、内子座で開かれました。

今回の演目は、第４回公演でも上演された「生写朝顔話」と、狂言をもとにした楽しい物語「釣女」。「生写朝顔話」は、すれ違いで会うことができない相手を思い目を泣きつぶすほど一途に恋い焦がれる"朝顔"の姿を描いた純愛物語。「釣女」は、妻を授けてもらおうとえびす様に願をかけた主人公の二人がそれぞれ釣り竿で女性を釣るという愉快な物語です。

人間国宝の鶴澤清治さんや吉田文雀さんをはじめ日本を代表する技芸員が出演し、会場は笑いあり涙ありの舞台を大いに楽しんでいました。

また同公演に先立って７月16日、より多くの人々に文楽に親しんでもらおうと、初心者向けの文楽入門講座「なるほど・ザ・文楽」が開かれました。講座では、文楽を構成する太夫・三味線・人形の３部門についてそれぞれ役割や特徴などを解説。人形遣いの部門には、西予市出身の吉田和生さんが出演し、男性と女性、子どもの演じ分けなどを実演や体験コーナーを交えながら分かりやすく説明しました。松山市から参加していた小学５年生の３人組は、「人形が重く、思うように動かなくて難しかったけど、楽しかった」と貴重な体験を喜んでいました。

1にぎやかで楽しい「釣女」の一幕　2公演成功を祝し豊竹嶋大夫さんの発声で乾杯　3吉田和生さんの手ほどきで人形遣いに挑戦

小田川を身近に感じて

元気わくわく川まつり2011

「元気わくわく川まつり2011」（同実行委員会主催）は７月17日、豊秋河原下流のミニ小田川で開かれました。参加した約400人の子どもたちは、「小田川から学ぶ！遊ぶ！」をテーマに、水辺の生物観察などの学習をした後、ウナギのつかみ捕りや木登りなどのレクリエーションに挑戦。さまざまな体験を通して川に親しみました。

◀川の中に沈められた宝物探しゲーム。上手に見つけられるかな

地元球団の活躍に湧く

愛媛マンダリンパイレーツ公式戦 in 城の台

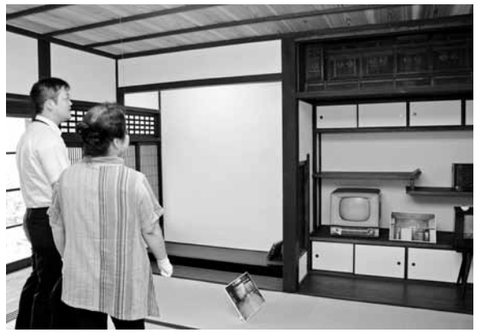
四国アイランドリーグplus公式戦が７月24日、城の台公園多目的広場で開かれ、愛媛マンダリンパイレーツと、昨年度優勝チームの香川オリーブガイナーズが対戦しました。試合は常に愛媛マンダリンパイレーツがリードする展開。結果は８対２で快勝し、会場に集まった約700人の観客から盛大な拍手が送られました。

◀本塁打を含む２安打を放ちＭＶＰ賞を受賞した陽耀華選手

町家保存の参考事例に

八日市・護国町並保存地区「織本家」

内子町は７月24日、主屋修理事業が完了した織本家住宅の見学会を開きました。同家は大正12年ごろに建築。修理によって、外観は復原され、内部は間取りを変えて吹き抜けを設けるなど快適な居住空間の確保が図られています。町は、今後も大規模な修理事業が行われた際は公開し町並み保存推進につなげたいとしています。



◀一般住宅の修理事業後の公開は初めて。興味深く説明を聞く見学者

ワインに合う料理を研究

うちこグリーンツーリズム協会

うちこグリーンツーリズム協会（藤渕利通会長）は７月27日、今春から製造が始まった内子産ワインに合う料理を研究しようと勉強会を開きました。女性会員らが中心となり、地元の野菜を使った南蛮漬けなど６品を試作。藤渕会長は「どぶろくやリキュールに合う料理も研究し、おもてなしの質を高めたい」と話していました。

◀手際よく調理していく会員たち。写真は夏野菜の南蛮漬け